

2020
3.14(土)→5.17(日)

MARCH 14-MAY 17

5/4は開館、4/24・5/7は休館

開館60周年記念名品展 I

モネから始まる住友洋画物語

Tale Beginning with Monet ~ Western paintings of Sumitomo Collection
从莫奈开始的住友西洋画物语

日 本にまだ西洋美術館がなかった時代、住友家 15 代当主となった春翠は、いち早くクロード・モネやジャン=ポール・ローランスなどを収集し、明治 36 年竣工の須磨別邸に飾りました。そのコレクションは画家や地域の子供達にも公開され、須磨別邸はさながら邸宅美術館の様相を呈していたのです。コレクションはその後、春翠の子息たちにも継承され、岸田劉生や梅原龍三郎、熊谷守一らの優品を加えて現在に伝えられています。モネからはじまる住友洋画コレクションを一挙公開します。



クロード・モネ《モンソー公園》1876年 泉屋博古館分館

2020
前期 6.6(土)→6.14(日)
後期 6.16(火)→7.12(日)

The first term : JUNE 6-JUNE 14
The second term : JUNE 16-JULY 12

特別展

ゆかた 沿衣 YUKATA

すずしさのデザイン、いまむかし

Special Exhibition YUKATA YUKATA YUKATA

特別展 沿衣 YUKATA -涼爽的设计、古今-

和 装離れが進む現代においても、ファンを増やしているのが夏の涼衣、ゆかたです。ゆかたは、江戸時代に入浴後のくつろぎ着として着られるようになり、やがて夏の気軽な外出着として定着しました。本展では、江戸から昭和にいたるゆかたをはじめ、染めに使われる型紙や当時の風俗を描く浮世絵など、素朴でありながら繊細さを兼ね備えたゆかたの魅力を、デザイン性と遊びの要素から紐解きます。(展示替えあり)



《白木綿地網魚介模様浴衣》江戸時代（18世紀後半～19世紀前半）
松坂屋コレクション J.フロントリテイリング史料館

2020
9.12(土)→10.18(日)

9/21は開館、9/23は休館

開館60周年記念特別展

瑞獸伝来

空想動物でめぐる東アジア三千年の旅

Introduction of Auspicious Beasts

～Three thousand years Journey in East Asia with Imaginary Animals

瑞兽传来 - 环绕虚构动物东亚三千年之旅 -

古 代中国では空想動物が吉祥のモチーフとして盛んに用いられ、それらは海を渡って日本に伝来し、現在の私たちの生活にも深く根付いています。また同時に、空想動物は様々な美術作品の中に表され、吉祥の寓意によって作品に触れる人々を喜ぶとともに、多くの芸術家たちを触発してきました。本展では、中国伝統の瑞獸モチーフである龍・鳳凰・虎に焦点を当て、中国から京都へ、三千年の旅に皆様をご案内いたします。



伝楊月澗《雲龍図》明時代（14～15世紀）泉屋博古館

2020
10.30(金)→12.6(日)

SEPTEMBER 12-OCTOBER 18

11/23は開館、11/24は休館

開館60周年記念名品展 II

せん おく はく こ 泉屋博古

住友コレクションの原点(仮)

Sen-oku Hakuko

- Looking back at the starting point of the Sumitomo Collection

泉屋博古 - 住友收藏の起点(暫定)

今 から 60 年前、泉屋博古館は、京都は東山・鹿ヶ谷の地に誕生しました。そこで開館 60 年を迎える本年、当館の「顔」が一堂に会すべスト・セレクション展を開催します。日本や中国の絵画・書、茶道具などの工芸、仏像をはじめとする東アジアの仏教美術の名品が競演します。さらに本年は、青銅器館竣工 50 年の年であり、中国の青銅器や鏡も加えて総数 200 点に迫る作品をご覧いただきながら、当館の歩みを振り返ります。当館コレクションを代表する「名役者」たちのそい踏み、乞うご期待ください。



八大山人《安晚帖》清・康熙33年（1694）泉屋博古館